

# 第2回文京区基本構想推進 区民協議会

---

データを活かした合理的な実施計画づくり

2016年6月23日

日本女子大学 平田京子

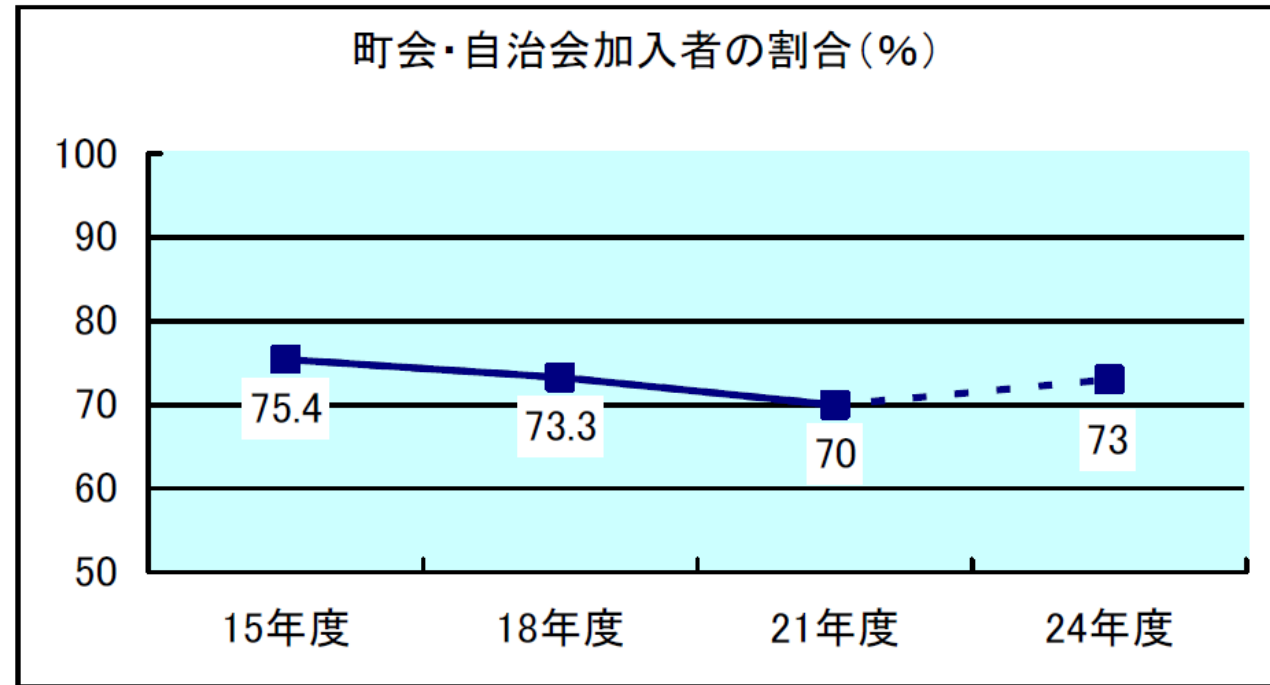
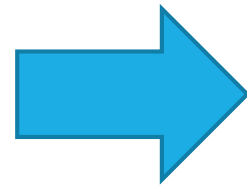
# これまでの区民協議会の歴代の成果

- 事業評価シートを毎年改善→「A、B、C」の評価導入
- 各項目に該当する成果の指標を「見える化」、3～4設定

## 3 今後3か年の進行を管理する主な指標

### (1) 町会・自治会への加入促進

基本構想  
目標



\* 15・18・21年度の実績値は文京区政に関する世論調査による。

では今回、どうする？

目標を明確にしましょう



「データを活かした  
合理的な実施計画づくり」

# 「データを活かした合理的な実施計画づくり」とは？

戦国武将

委員

参謀が指標化・自己評価  
武将は意見を述べる

+

参謀

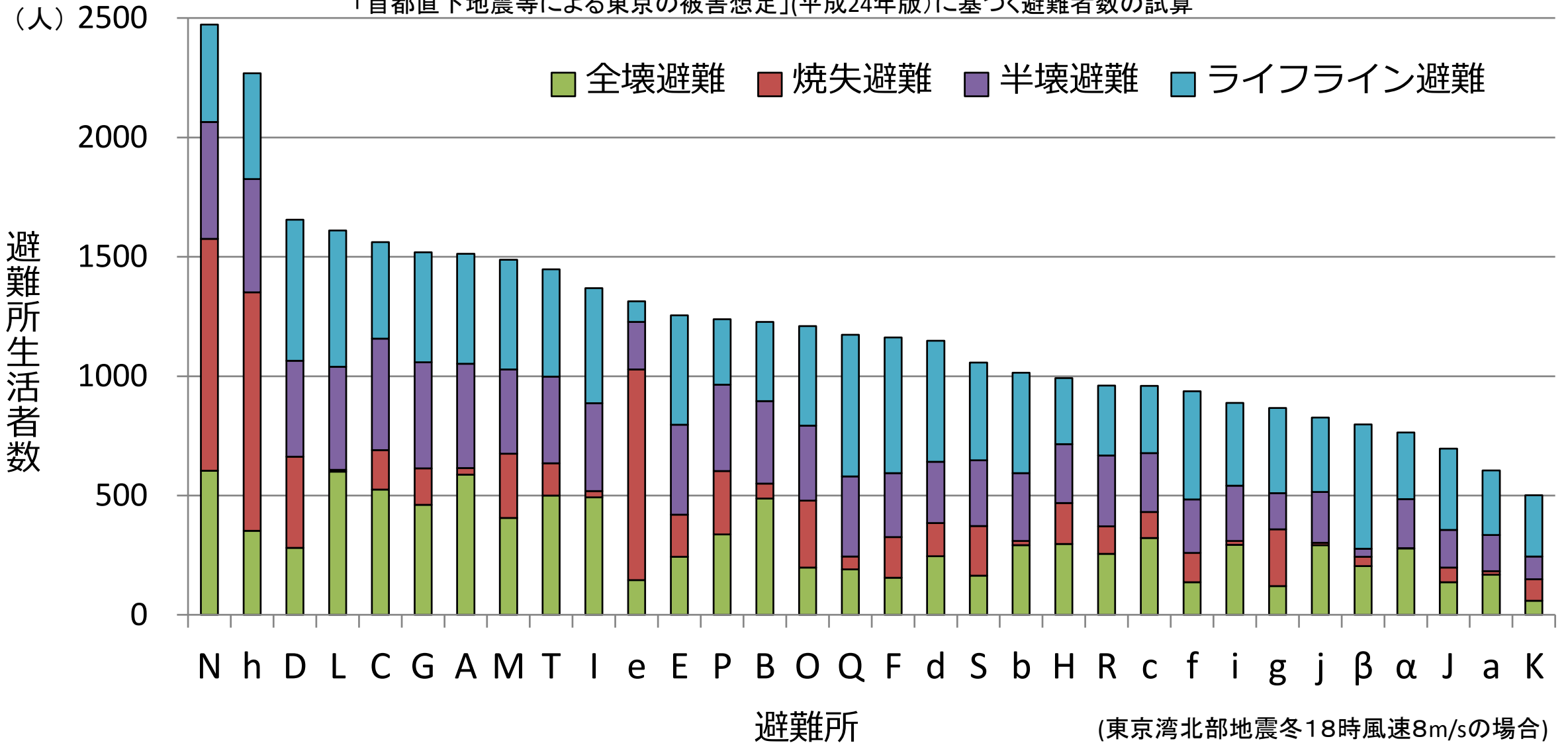
区職員

文京区の城下町をどうつくるか？

どのようにデータを活用していくのか？

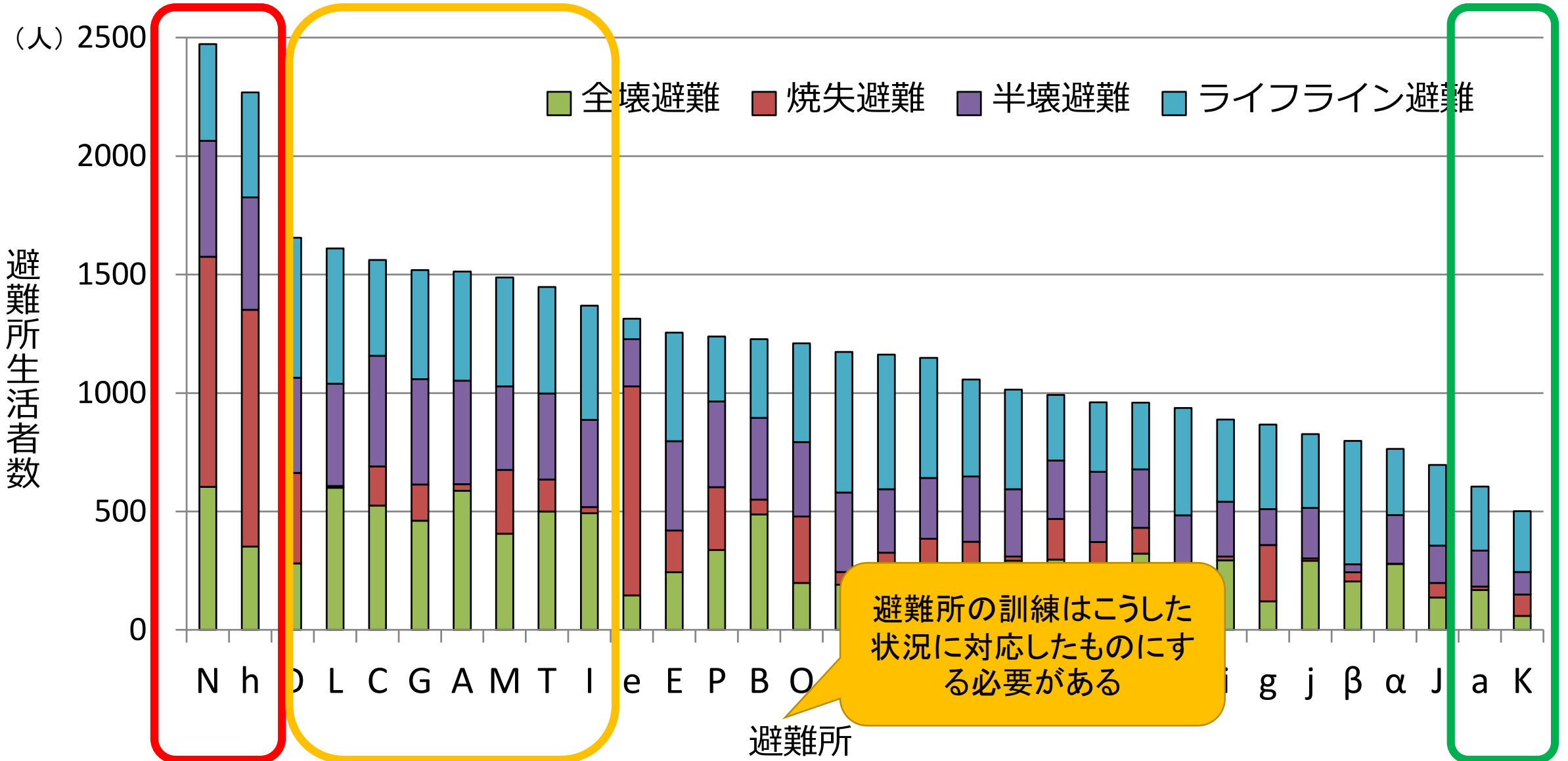
# 文京区の避難所生活者数の想定(発災1日後)

「首都直下地震等による東京の被害想定」(平成24年版)に基づく避難者数の試算



出典:古川洋子, 平田京子, 石川孝重:文京区の32避難所地域を単位とした避難所生活者発生状況と避難所運営協議会による避難者受け入れ準備体制の把握, 日本建築学会計画系論文集, 2015

# データに基づく「合理的な準備・訓練」が必要



# 「データを活かした合理的な実施計画づくり」とは？

委員



区職員

実施計画

子育て・教育  
福祉・健康  
コミュニティ・産業・文化  
まちづくり・環境

知恵者（プロ）  
データをもっている  
体力温存・選択と集中  
（酷使すると消耗して使  
い物にならなくなる）

- 250を超える事業には重複するものもある？↓
- お金のかけ方は？→点検
- データをこう見せたら分かりやすい→発信
- 区民と区でデータを共有していこう！